

全国連盟通信



つなごう 支援の輪

新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

第31期 No.2

2014年7月9日

発行責任者
和食昭夫

「空はつながっている」といえるために、 スポーツの平和的発展のために

新日本スポーツ連盟会長 永井 博

遠くの空の下では/今でもせんそうをしている国があるんだって

空はつながっているのに/どうしてかな/どこまでが平和で/どこからがせんそうなんだらう

6月23日の沖縄「慰霊の日」に、沖縄県糸満市の平和祈念公園で開かれた沖縄全戦没者追悼式で、石垣市立真吉良小学校3年生の増田健琉君が読み上げた「空はつながっている」と題する詩の一節です。

つながっている空の下で、みんなスポーツを楽しんでいるのだろうか。それはいいのです。戦争の空の下では、スポーツは楽しめません。戦争の空から飛んでくるのは、ボールではなくて砲弾だからです。

今こそ「スポーツは平和とともに」です。その時に安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を閣議決定しました。それは、戦争の放棄、戦力不保持、交戦権否認をうたった憲法9条を事実上削除するに等しいものといわねばなりません。

健琉君の詩は続きます。平和の願いをこめて。

どうしたら/せんそうのない/どこまでも続く青い空になれるのかな

白い雲/ぼくの平和のねがいのをのせて/この地球をぐるっとまわって/青い空にそめてきて

スポーツ連盟の「スポーツは平和とともに」のノボリ旗は、青地に白字を染め抜いたものです。それは、健琉君の詩にある「青い空」と「白い雲」そのものといってよいでしょう。白字「スポーツは平和とともに」は、「白い雲」となって、この地球をぐるっとまわって、「青い空」に染め抜かねばなりません。

この間、スポーツの平和的発展のために、一貫して運動を進めてきたスポーツ団体として、それぞれの地域において、種目において、一人のスポーツを愛する者として、今こそ力を致す時です。



①家族で「平和の礎」を訪れ、戦没者の冥福を祈る人たち②平和祈念公園内の「平和の火」③「平和の詩」を朗読する増田健琉君（「毎日新聞」より）



和歌山反核平和マラソン



群馬反核平和マラソン

今年も反核平和マラソンが、7月に入っては、全国各地で実施されています。

新しく開催の準備を進めている北海道連盟では「第1回平和大好きランニング&ウォーク in 札幌」を9月7日に開催します。また、東京では、第19回東京反核平和マラソンを7月26日に実施するほか、7月20日（日）に横田基地周辺で第1回の反核平和ウォーキングの開催を決定、地元の基地に反対する会のみなさんと交流し激励する取り組みとして位置付けています。

今年の反核平和マラソンは、福島原発の事故が一向に収束を見せない中で、多くの県民が故郷に帰れないという現実を前に、原発はひとたび事故をおこせば、人類の生存を脅かすことを目の当たりにした中で行われます。そして、今なお政府が原発の再稼働を狙っていることに強く抗議して行われる反核平和マラソンです。また、政府が勝手に憲法の解釈を変えて、憲法第9条の戦争を放棄する条項の解釈を変えて、戦争をできる国にするという事態に直面し、「9条を守り、平和な日本であり続けよう」という叫びの中で、行われる反核平和マラソンです。

各地で、スポーツ愛好者に広げながら、反核平和マラソンのわが広がるように、頑張りましょう。



名古屋平和大好きマラソン



和歌山平和マラソン

反核平和マラソン

各地で
スタート！

8月5・6日は 「反核平和スポーツの集い in 広島」

集まって！

8月5日は、例年「反核平和マラソンの交流のつどい」を開催していましたが、今年は、その流れをつないで、「反核平和スポーツの集い in 広島」という一回り大きな企画を整えました。全国各地の反核平和マラソンの交流を進めるとともに、広島の実地での様々な運動と合流して、平和を願う運動に貢献します。

5日は、「原爆の遺跡と碑めぐり」と「反核平和マラソンの交流のつどい」6日は、「広島城公園の反核平和マラソン&ウォーキング」と「広島～長崎反核平和500kmマラソン開会式」「原爆資料館めぐり」「うたごえライブ」と盛りだくさん。関西ブロック、と広島県連盟準備会の皆さんには、たくさんの参加者を集めていただくよう期待しています。

全国の反核平和マラソンの写真や 動画を全国連盟に送って！

8月5日の「反核平和マラソン交流のつどい」では、各地の反核平和マラソンの開催状況を写真や動画を通



富山から石川へ
平和マラソンを引き継ぐ



して交流する準備が行われています。パワーポイントを使って、素晴らしい映像が作れるようにご協力をお願いします。

▼送り先

メールアドレス☞ zenkoku@njsf.net まで

「2020 オリンピック・パラリンピックを考える都民の会」（以下、オリパラ都民の会）は、和食理事長が共同代表として、萩原副理事長が事務局長、宮内理事が事務局員として奮闘しています。オリパラ都民の会は、自由法曹団や東京地評、臨海都民連など 10 数団体が集まって活動していますが、スポーツ連盟がその中心的な役割を担って奮闘しています。

計画見直し求める提案書を 大会組織委員会に提出

6月24日、オリパラ都民の会は、舛添要一東京都知事と森喜朗組織委員会会長あてに、競技施設設計画について、見直しを求めて対案を提出しました。



大会組織委員会へ提案書を提出

東京都が I O C に提出している立候補ファイルの会場計画は、誰が見ても大変ずさんなもので、このままの競技施設設計画を実行すれば、将来に禍根を残す内容となっています。

オリンピックは、「オリンピックムーブメントアジェンダ 21」という I O C の指針に従って準備されるものです。そこには、競技施設は、既存の施設を利用することが原則で、どうしても既存の施設ではできない場合に限り新規の競技施設を建設するが、その場合には自然や景観を損なうことなく、その地域の制限条件に従って建設することとなっていますが、この指針に大きく逸脱した現在の競技施設設計画なのです。

オリパラ都民の会ははじめ日本野鳥の会東京、神宮外苑と国立競技場を未来へ手渡す会などが、それぞれ東京都へ、東京都議会へ、組織委員会へ、そして国際オリンピック委員会にたいして警鐘を鳴らして様々な活動を展開しており、そうした世論の高まりを反映して、舛添要一都知事が、6月10日の都議会所信表明の中で、突然、「競技施設設計画を見直す」と表明しました。オリパラ都民の会としては、その表明を歓迎すると共に、積極的に対案を出して世論を後押しすることになったのです。

オリンピック・パラリンピックは、もはや東京の問題ではありません。わが国のスポーツの在り方と関わって、「これで良いのか！オリンピック・パラリンピック」という問題を含みながら、そして、都民や国民に秘密裏に準備をするという体質を持ちながら、進められています。スポーツ連盟は、このオリンピック・パラリンピックの準備の6年間に、国のスポーツの考え方やスポーツを推進する計画などにもかかわる問題として活動を広げる必要があります。さらに、スポーツ議員連盟の中で、新たな枠組みとして「スポーツ庁」構想が議論されています。文科省が直接スポーツ団体をコントロールできるようになったら、競技団体の自主性が損なわれる事態になってしまいます。

IOC調整委員と面談が実現 —都民の会の提案に共感

6月25日は、日本を訪れていた I O C 調整委員のマークアダムス氏とロバートロックスバーク氏との面談が実現しました。よる7時からのお話し合いには、オリパラ都民の会から6名と未来へ手渡す会から2名、通訳の朝戸さんの合計9名が出席しました。当初、組織委員会の窓口からは、「話し合いではない。意見を聞くだけ。15～20分。」と大変限定的な指示がありましたが、2人の I O C 委員は、「みなさんと意見交換をしたい。国民の皆さんの意見を聞くことは大事なこと」と評価。50分以上にわたって意見交換が行われ、オリパラ都民の会が競技施設設計画について、どんな対案を持っているの十分に説明をしました。

「みなさんの要望について大満足させることはできないが、現在見直し作業を実施している。要望があればこの時期にたくさん要望してください」と返事があり、一定の手ごたえをつかむことができた大切な話し合いとなりました。

この話し合いが実現したのは、5月中旬にオリパラ都民の会として I O C に、来日した際には、是非、面会をしたいという要請をしていたことによるものです。現在、カヌースラローム会場が、葛西臨海公園の隣の都有地に計画変更になり、公園の自然環境がそのまま守ることができたのは、日本野鳥の会東京を代表する自然保護団体、オリパラ都民の会の請願運動が実ったものです。これから、更に、既存スポーツ施設を潰さない要望、1964年のオリンピックで競技施設になった競技場を使うこと、近隣の県にある、国際大会ができる競技施設を有効利用するなどの提案をして運動を広めなければなりません。

全国スポーツ祭典を大きく成功させよう

スポーツ活動・組織局長
福島邦夫

2014年11月を中心に東海ブロック主管で第30回全国スポーツ祭典を開催します。東海ブロックとしては第22回・第26回大会に続き3回目。祭典実行委員会は、いま共通プログラム作成に全力投球中で、これまで5回の委員会と祭典ニュースを2回発行するなど、祭典成功に向け頑張っています。

今、全国各地では、たくさんの種目で予選大会やそれに準ずる大会が開催されていることと思います。中には、既に全国祭典への出場権を獲得しているチームや選手も選抜されています。全国スポーツ祭典に向けて、開催各種目組織および都道府県連盟で準備とその確認をお願い致します。

「東日本大震災」から3年経過し復興も道半ば、第30回全国スポーツ祭典は今回も東北復興支援活動として、被災地（東北6県）からの参加費が免除されています。復興支援グッズ制作・販売を行い、その収益金を全て参加費援助に充当しますので、各組織で積極的にご活用ください。

新日本スポーツ連盟は来年2015年11月創立50周年を迎えます。第30回全国スポーツ祭典を大きく成功させることは、記念すべき

種目	都道府県	開催日	会場
1 陸上	京都市	11月16日(日)	京都市西京極総合運動公園 陸上競技場
2 水泳	仙台市	11月3日(月)	グランディ21 宮城県総合運動公園総合プール
3 軟式野球	静岡市	11月15・16日(土・日)	①草薙球場②西ヶ谷球場 ③清水庵原球場④草薙軟式野球場
4 テニス	浜松市	12月20・21日(土・日)	浜松市 花川運動公園テニスコート
5 サッカー	豊田市	12月13・14日(土・日)	豊田市運動公園陸上競技場 ・球技場
6 バレーボール	名古屋市	11月22・23日(土・日)	名古屋市体育館・瀬戸市体育館・ 天白・守山スポーツセンター
7 ミックスバレーボール	名古屋市	11月29・30日(土・日)	名古屋市稲永・守山・天白 ・緑スポーツセンター
8 卓球 一般の部	千葉市	12月6・7日(土・日)	千葉ポートアリーナ
9 卓球 年齢別	豊田市	2015年 1月24・25日(土・日)	スカイホール 豊田メイン、サブホール
10 バドミントン	浜松市	12月6・7日(土・日)	浜北グリーンアリーナ
11 ソフトボール	富士宮市	11月1・2日(土・日)	静岡県ソフトボール場 ・山宮ふじざくら球技場
12 ウォーキング	三重県 熊野市他	10月11・12日(土・日)	熊野古道伊勢路
13 バasketボール	名古屋市	8月30・31日(土・日)	名古屋市露橋スポーツセンター
14 ゴルフ	岐阜県 美濃加茂市	11月9日(日)	正眼寺カントリークラブ
15 スキー	長野県 飯山市	2015年 2月28・3月1日(土・日)	長野県戸狩スキー場

50周年を意義あるものとするでしょう。そのために皆さんの格別のご協力をお願い致します。

2014年
東北復興支援 第30回全国スポーツ祭典
復興支援グッズ 販売のご案内

第30回全国スポーツ祭典は、東北復興支援活動として、被災地（東北6県）からの参加費が免除されています。祭典スローガン・ロゴマーク入りのグッズ制作・販売を行い、その収益金を全て参加費援助に充当しますので、各組織での積極的な活用、ご協力をお願い致します。なお、この東北復興支援活動への募金も募集しています。

第30回全国スポーツ祭典スローガン入り

ハンドタオル

速乾性!
心地よい
肌ざわりです

サイズ 34cm×38cm
カラー ピンク/イエロー

全国種目組織および
都道府県連盟に、
1個あたり300円で
引渡をします。

文字・ロゴ
追加もできます

ご注文・お問い合わせは

新日本スポーツ連盟 全国連盟まで

TEL 03-3986-5401

FAX 03-3986-5403

Eメール zenkoku@njsf.net

大会・行事の**参加賞**や**記念品**などに採用して、祭典アピールと復興支援を呼びかけましょう!

- ① 全国祭典の各種目
- ② 都道府県連盟段階の各種大会
- ③ 連盟に加盟する全クラブに

祭典グッズ「ハンドタオル」販売状況

月日	購入組織・氏名	通常品	文字ロゴ追加
3/25	愛知県連盟	280	720
4/8	RC三重	20	
4/14	西が丘水泳	21	
5/21	石川県連盟	50	
5/30	愛知県連盟	600	
5/12	和歌山RC	50	
4/14	三重県連盟	100	
6/16	東京都板橋卓球	100	
3/18	全国バド協	130	
6/16	和歌山RC	30	
	全国連盟総会	75	
	福島 和食 青嶋	42	
	スキー関係	10	
	事務所	5	
6/16	卓球総会	10	
6/9	宮久保	10	
6/13	宮久保	20	
6/19	宮久保	50	
6/23	宮久保	20	
6/25	兵庫・空手	10	
	愛知ラニング青木	50	
6/26	宮久保	6	
6/27	宮久保	20	
7/2	宮久保	25	
	計	1,734	720

1 FSGTの卓球代表団訪日

5月14(水)～5月21日(水)フランスのFSGTの卓球代表団が来日しました。卓球部門では初めての交流です。団長のジルベール(58)と男子選手のジャンピエール(49)・ルカ(21)は、ドイツに近いアルザス地方から来ました。女子選手のサラ(23)はマルセイユの近くから、アレクサンドラ(19)はピレネーから来ました。全員日本は初めてでした。

女子は平日の東京体育館の3ダブルス大会に東京の運営委員と一緒に出場し、2部2位トーナメントで1位となりました。杉並のペアマッチ大会では、サラとアレクサンドラは優勝、ジャンピエールとルカは準優勝でした。フランスでは40歳以上の女性が大会に参加することは少ないようで平日大会の参加者の多さに驚いていました。代表団の選手は8歳からFSGTに加盟している人もいて試合のマナーがとてもよく友好的でした。

組織交流では、FSGTが国から年間6300万円の補助金をもらっていることで国のスポーツ政策の違いを感じました。FSGTの27万人の組織のうち卓球は2500人とおおきくはありませんが、SPORTS FOR ALLの歴史を感じました。団長はFSGTの卓球の共同責任者の一人で、特に技術力向上に力をいれているようです。大会に追われている我々には参考になるところです。



歓迎レセプションには、伊藤顧問、永井会長、伊賀野副会長、和食理事長、全国卓球協の東京、神奈川、埼玉、千葉、新潟、愛知、滋賀、広島、京都、大阪、兵庫、岡山、徳島のほか東京都連盟、陸上、スキーの関係者らが集い50人の会になりました。

観光は浜離宮と浅草を楽しみました。団長のジルベールは「日本は伝統的な文化と近代的なものが融合している」と感心していました。鎌倉ハイキングでは神奈川ウォーキングの協力で大仏や鶴岡八幡宮へ行きました。富士山は見えず残念でしたが、野点も体験しました。神奈川ウォーキングのみなさんの接待上手に感心しました。そして2016年にはフランスに招待されました。

卓球、ランニングでフランスと国際交流

国際活動局長
小林章子

2 ツール・ド・ペイ・コー 30周年記念大会

5月25日(日)～6月2日(月)、スポーツ連盟代表団がフランスのFSGTの招待でコーマラソンに参加しました。代表団は、佐藤正美(東京RC・団長)、園生一行(大阪泉北ランニングクラブ)、山本和道(和歌山R



左から園生さん、渡辺良治さん、アルジェリアの選手、渡辺愛子さん、佐藤さん、山本さん

C)、渡辺良治(東京ポポロAC)、渡辺愛子(東京ポポロAC)の皆さんです。レースはフランス北西部のノルマンディー地方で、コーショアクラブが開催しています。4日間で6ステージ約90キロを走る賞金レースです。

参加国は、ルーマニア・ブルガリア・ポーランド・アルジェリア・イスラエル・モロッコ・イタリア・ドイツ・スロバキア・フランス・日本の11か国です。スポーツ連盟代表団は全員完走しました。そして渡辺良治さんは総合4位(年代別3位)という輝かしい成績をおさめました。佐藤団長以外初めての参加でしたが、チームワークがよかったのだと思います。園生さんはもちまへの器用さをいかして、応援の子どもたちに手づくりの針金細工のブローチをプレゼントしたり、他の国の選手と折り紙で交流しました。

ポーランドの選手とは「原発はいらない」という議論になりました。コーマラソンは過酷なレースですが、たくさんの国のランナーと友達になれます。そして地元のひとや、レースを支えるたくさんのボランティアとも交流できる素敵な大会です。

各地で「スポーツのひろば」普及の議論

価格290円が決議された全国総会から3ヶ月以上が経ち、各都道府県連盟や種目協議会の総会・理事会、クラブの運営委員会などで「ひろば普及のためにどうアクションするか？」が議論されています。なかには「290円、チェーン店の安いコーヒー1杯分ですよ！」「50年にわたるスポーツ連盟の歴史をつなぐ機関誌を是非読んで！」と訴える声も…。こうした取り組んでいる方々のおかげで、全体では着実にひろば読者が増えています。次号(9月号)は、8年ぶりに2000部を超える見込みとなりました。

目標としている2500部の読者(来年2月まで)を達成するには、さらに500部以上増やすことが必要です。全国連盟の和食昭夫理事長も強く提唱していますが、500人の連盟会員が1部増やせばできるのです。500人が「スポーツのひろば」のことを真剣に考え仲間に購読を訴え、2500人の読者が実現すれば、スポーツ連盟に新しい力が生まれると思います。それが、スポーツ連盟の活動や理念を未来につなぐ力になるのではないのでしょうか。是非「ひろば普及運動」にご協力をお願いします。

「ひろば増えました！」各地のレポートから

◆全国ウォーキング協議会

「スポーツのひろば普及運動レポート」をメールで発行し(現在までに3回発行)、普及を呼びかけています。以下は、その普及運動レポートからの抜粋です。
☆遠州ウォーキングクラブでは、現在運営委員は6名おりますが、その内「スポーツのひろば」を購読されていない方に対し、今回運営委員会時に見本を渡し、読みどころを話し、とりあえず読んでもらいます。そしてこの本の良さを感じてもらったらよいなあと思っています。

☆和歌山ウォーキングクラブでは、現在1部を運営委員10人で回覧をしているが、もっと会員へも広げてはどうかと

の意見もあり、今回、定価が450円から290円に下がったこともあり、クラブ全体で1部を増やすことを運営委員会で了承されました。今後、週1回のリフレッシュウォーク時に会員に渡し回覧していくこととします。

◆神奈川ウォーキングクラブ(+8部)

クラブの総会で、運営委員中心に購読するよう決議しました。

◆新潟卓球協議会(+3部)

田中公平さんの働きがけにより、加盟クラブ員3名が購読することになりました。

◆東京卓球協議会(+9部)

総会(6/14)で、東京都連盟理事長の萩原純一さんの訴えがあり、練馬区と杉並区の卓球協議会スタッフの購読申込がありました。

◆兵庫県連盟(+10部)

事務局の山下良樹さん、理事長の和田利男さんからの宣伝や、県連盟総会での議論もあり、卓球、テニス、ウォーキングなどで増誌しました。

◆神奈川卓球協議会(+10部以上)

卓球協議会として購入し、すべての運営委員が「ひろば」を読むように決めました。

◆千葉県連盟(+6部)

卓球協議会が運営委員会で話し合い、6部購読することを決めました。

◆愛知ランニング協会(+5部)

ロードレース大会で参加者に宣伝誌を配布したところ、5部の申し込みがありました。



※ひろば普及のレポートを送ってください！

FAX : 03-3986-5403 メール : zenkoku@njsf.net



フェイスブックでも「ひろば」情報を掲載中！
facebook.com/sportsrenmei

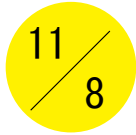
広報ツールに関するアンケートにご協力ありがとうございました！

広報局は、5月に各組織での広報ツールの活用状況を把握するため、アンケート調査を実施しました。各都道府県連盟、全国種目組織の担当者の方々、ご協力ありがとうございました(17都道府県、10全国種目組織から回答)。

このアンケートは、全国連盟通信の活用状況、スポーツ連盟リーフレットの要望、各ホームページの実態を調べたものです。結果の概要は右記の通り。

- ・全国通信は、「紙」より「データ」のニーズが多い。
- ・約半分の組織が「独自のリーフレットを作りたい」。
- ・ホームページがある組織は50%、悩みは「更新が大変」。
- ・「Web専門職員を配置する時期では？」という意見あり。

これをふまえて、広報局では各組織の実態・要望にあわせた広報活動をすすめていきたいと考えています。



新日本スポーツ連盟附属

スポーツ科学研究所 を設立します

スポーツ科学研究所設立準備会 青沼裕之

スポーツ科学研究所設立準備会（以下、準備会）は、連盟内外から協力者を募り、それまでの準備委員会を発展強化させた形で2014年2月26日に第1回会議を開催しました。

これまでに5回会議を行い、

- ①準備会の開催趣旨と構成委員の確認
- ②設立募金の納入状況と加入書の提出状況把握
- ③趣意書案と規約案の検討
- ④スポーツ討論集会の企画
- ⑤設立総会と記念シンポジウムの企画
- ⑥研究年報の名称検討
- ⑦年会費、一定額以上募金した退職者の会費免除、
院生会員の会費
等を検討してきました。

当面の重要課題は、⑤設立総会と記念シンポジウムの企画ですが、これは以下のような予定となっています。

日程：2014年11月8日（土）12：30～17：30

会場：アルカディア市ヶ谷

受付開始：13：00

設立総会：13：30～14：30

記念シンポジウム：15：00～17：20

記念パーティー：18：00～20：30

記念シンポジウムのテーマと人選は現在検討中です。

④スポーツ討論集会は、オリパラ都民の会との共催企画、第1回提言討論会「競技施設建設計画の現状と課題・対策」として実現しました。詳細はスポーツ権・平和運動局長の萩原報告に譲りますが、2020年東京オリ

設立総会プログラム

1. 開会挨拶（研究所設立までの経過報告を含む）
2. 来賓祝辞
3. メッセージの紹介
4. スポーツ科学研究所の趣意書の説明
5. スポーツ科学研究所の規約の説明
6. 当面の事業計画の報告
7. 役員の選出
8. 質疑応答
9. 総会閉会の挨拶

ンピック・パラリンピック会場整備計画は大会組織委員会にだけ関係する問題ではなく、東京都の『2020年の東京』へのアクションプログラム2013』という首都改造計画が背景にあり、また文部科学省の「スポーツ基本計画」ばかりでなく国土交通省の「交通政策基本計画」とも密接に関係してきますから、さらに多面的で詳細な検討が必要となります。

②設立募金の設立募金の積立状況（6月18日現在）は、2,554,767円となっています。引き続きご協力をお願い致します。

②③⑥⑦は継続した検討課題ですが、11月8日の設立総会には確定した提案をおこなえるようにします。



2020オリンピック・パラリンピックを考える 第1回提言討論会

新日本スポーツ連盟附属

スポーツ科学研究所への入会と設立募金のお願い

現在、新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所設立準備会は、継続して精力的に研究を進めて頂ける方の入会を募っております。「趣意書」と「規約」に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会でき

る開かれた組織です。どうぞ設立の趣旨をご理解頂き、多くの方々が加入して下さることを希望致します。年会費は5000円（個人）と10000円（団体）を予定しています。（青沼裕之）

募金にご協力いただける方は
右記の口座宛にお振込ください

※入会申込書は全国連盟まで

郵便局口座記号番号：00120-4-549943

加入者名：新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所

5月27日、伊藤司男副理事長（岩手県連盟理事長）がご病気のため急逝されました。5月31日の葬儀に列席した和食昭夫理事長がご遺族のご意向により以下の弔辞を述べましたので紹介します。

お別れのことば

新日本スポーツ連盟を代表して、お別れのことばを述べさせていただきます。

伊藤司男さん。あなたとお別れがこんなに突然訪れるとは、思いもかけず、痛恨の極みです。この思いは、全国各地の新日本スポーツ連盟の伊藤さんを知るすべての仲間の思いです。

伊藤さんは、1965年11月12日、東京九段会館で、「スポーツは万人の権利」の主張を掲げて行われた、新日本体育連盟の結成大会に、熱い思いをもって参加されました。しかし、その後、地元岩手で他の分野の大切な任務を要請され、民主的なスポーツ運動からの中断を余儀なくされました。しかし、スポーツへの情熱を失うことなく、優れた技量を持つ卓球の分野では、岩手県の卓球界において積極的な役割を果たしてこられました。

民主的なスポーツ運動に本格的にチャレンジするようになったのは、2006年頃からだと思えます。そして、いったん新日本スポーツ連盟の活動に専念しはじめてからは、1965年以来40年の中断を一気に取り戻すかのように、伊藤さんは怒濤の進撃を開始しました。それは、岩手県内にとどまらず、東北6県全体を視野におき、とくに、スポーツ連盟が空

白の青森、秋田、山形を駆け巡り、スポーツ連盟の活動の普及と組織化に奔走されました。これまで、既存のスポーツ団体で活躍してきた伊藤さんが、その経験を生かしてスポーツ連盟の活動に打ち込む姿は、種目を超え全国各地の仲間たちに確信を与え限りなく激励するものでした。

4月、東京で行った理事会でお会いしたのが最後となりました。顔色がすぐれず気になって、「どこか具合が悪いのでは」とお声をかけたのですが、伊藤さんは、「いや、大丈夫ですよ」とおっしゃって、何ごともなく、副理事長の役割を果たされました。それからわずか40日あまり、お別れの日を迎えることとなりました。スポーツ連盟副理事長としての伊藤さんとともに活動したのは、決して長くはありません。しかし、伊藤さんの活動は余人に代え難く、勇気をもらいながらの活動は私の記憶にしっかりと刻まれています。伊藤さんの不在をカバーすることはなかなか困難です。しかし、愚痴を決してこぼさなかった伊藤さんに学び、伊藤さんの志し半ばの思いを受け継ぎ、スポーツ連盟岩手県連盟、東北の各スポーツ連盟の発展のために力を合わせて、進む決意をお伝え致します。新日本スポーツ連盟は、来年11月12日創立50周年を迎えます。この記念すべき日にスポーツ連盟が大きく発展した姿を伊藤さんに見ていただけるよう全力をあげて活動することをこの場でお誓い致します。

伊藤司男さん、ゆっくりお休み下さい。ご家族・ご親族の方々のご健康とご発展をお見守り下さい。そして、ご家族同様に愛されたスポーツ連盟も見守って下さい。さようなら。

2014年5月31日

新日本スポーツ連盟 理事長 和食昭夫

東北復興支援 「義援金」報告

2014年7月2日現在

義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	募金 合計	9,867,732円
*FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む		
B義援金(公的機関への募金)	募金 合計	178,976円
2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金		

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況 2011年3月～

1 被災者お見舞金	3,620,000円
2 宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	1,483,270円
3 東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代)	827,179円
4 行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～)	1,522,605円
充当 合計	7,453,054円

募金 残高 2,414,678円

第31回定期全国総会資料(2014年3月15-16日)以降の内訳

義援金募金

A義援金(スポーツ連盟支援募金)

富山パークゴルフクラブ	2014/2/21	9,200
月例湘南マラソン運営委員会	2014/3/15	48,899
大阪府卓球協	2014/5/20	508,508

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況

4 行事・競技会、ボランティア活動への支援金

全国子どもスキー	2014/5/20	400,000
----------	-----------	---------

第31期全国会議及び主要事業予定一覧(2014年7月9日～9月)

月	日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
7月	12日		全国ソフトボール協議会総会(全国事務所)
	12～13日		神奈川反核平和マラソン
	13日		大阪府連盟総会、兵庫反核平和マラソン、千葉反核平和マラソン
	19日	広島県連盟結成準備会	
	21日		宮城県連盟総会
	26日		東京反核平和マラソン
	27日		にこにこペースの反核平和マラソン(福岡)
8月	3日		福島反核・脱原発・平和マラソン、石川反核平和マラソン
	3日		愛知: 鶴舞あいち反核平和マラソン&ジョッキング
	5～6日	反核平和スポーツのつどいin広島(仮称)	第1回メモリアルピースウォークinヒロシマ
	6～8日		反核平和マラソン(広島～長崎)
	6日		滋賀反核平和マラソン、広島平和マラソン・ウキキョウ
	30～31日	関東ブロックスポーツセミナーin箱根	全国スキー協サマーセミナーin福島
	30～31日	全国スポーツ祭典バスケボール大会(愛知)	
9月	6～7日	31期第2回三役会議・理事会	
	28日	西日本スポーツセミナー(和歌山)	

* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。